

滝山城跡に新駐車場

歴史観光のPR強化へ

八王子市は、国史跡「滝山城跡」のそばに新たに滝山観光駐車場を整備する。近くに常設の駐車場がなく、観光に不便だった問題の解消策。石森孝志市長は「城跡は大事な観光資源」と強調し、国史跡「八王子城跡」と合わせて整備を進める考えを示した。（福岡範行）

新駐車場は九百七十平方メートルで、約三十台



'14 予算案

分。滝山城跡南側の滝山街道沿いに紅葉の時期をめぐりに設ける。整備運営費は八千六十万円で、一般会計当初予算案に計上した。城跡を含む公園はクラフの名所で、花見の

時期は臨時駐車場が設けられたが、他の季節はバスを使わなくてはいけなかった。滝山城跡は戦国時代の山城跡で、堀などの遺構が形良く残っている。新年度には地元住民を中心とした検討組織を立ち上げ、地域の道の駅や農作物、休耕田の活用を交えた滝山

観光計画を練る。当初予算案には、JR八王子駅北西の市道の一部を石畳にするなどの中心市街地総合再生事業も盛り込んだ。一般会計の総額は千九百億円（前年度比1.8%増）で、二〇一〇年度に次ぎ、過去二番目の規模になった。

<一般会計>

1900億円（前年度当初比1.8%増）

<主な事業>

▽民間保育所の整備促進	21億5909万円
▽滝山観光駐車場の整備運営	8160万円
▽中心市街地の総合的な再生	6605万円
▽認知症家族サロン運営補助	480万円
▽農地バンク制度の創設	4万円



新年度当初予算案を発表する石森市長＝八王子市役所で